

日本農業新聞

2023年（令和5年）

6

23

金曜日

歌って踊れるJAの歌♪

JAかながわ西湘総代・古屋さん作詞作曲

CD販売で障害者支援

農園内で曲に合わせて振り付けを披露する
古屋さん（神奈川県南足柄市で）

「ジェイ・エイ・エイ・エイ・のうぎようきようどうくみあい」と軽快なメロディーに乗った「JAの歌」。作詞作曲したのは神奈川県南足柄市の農園経営者で、視覚障害のある人を支援する一般財団法人・春めき財団を運営する古屋富雄さん（70）だ。JAかながわ西湘の総代も務め、「歌って踊れるPR

ソング」と推す。一度聞いたら耳に残り、自然と体がリズムを刻むことを目指して制作。農家向けの営農計画の他、一般の人でも准組合員になれば共済や住宅ローンなどが利用できることも歌う。

「JAの店頭で流したり、イベントで踊ったりすることで、一般の人にもJAが身近になるのでは」と古屋さんは期待している。歌は荒井由実さん（当時）のバックバンドなどに加わった平野融さんが担当する。CDは同財団が販売し、半分の製作費、残りは視覚障害者への支援に充てる。問い合わせは古屋さん、☎090（7849）9200。